

楽しく子育てをしよう

子

子供の健やかな成長は、親の願いだけでなく、社会にとっての願いでもあります。洞爺湖町でも、保育所の開放や親子ふれあい遊びなどを通じて子育てでの支援を行っています。

そんな子育て中のお父さん、お母さんを応援しようと、「はつらつパパママ」そだてセミナー」が、9月26日から週1回10月31日まで健康福祉センターさわやかで開かれます。

子育てから、薬の使い方、栄養についてなど幅広い内容になっています。

今月号では、同セミナーの紹介と子育てで奮闘中のお母さんにスポットをあてます。

子育てサークル

「ぴーくあぶ」

扇山香里さんは、今年4月に育児サークル「ぴーくあぶ」の代表になりました。



「ぴーくあぶ」代表の扇さんと子どもたち

家の近くで活動しているのを見て、楽しくやっているように思えたので、3年前に気軽にサークルに入りました。

そのときの長女風子(なぎこ)

ちゃんも3歳になり、現在11カ月の次女和子(わこ)ちゃんのお世話をするなど良きお姉ちゃんぶりを発揮しています。

「主人の仕事の関係で移住し、知合いもいず、一人で悩みを抱えていた時期に同サークルと出会い、悩みを共有するママ友の存在は「非常に貴重でした」と当時を振り返ります。子どもにとっても、「同じ年頃の友達が出来たり、集団生活に慣れることができた」と感じています。

サークルに参加して、「自分だけがつらいのではない」ということが確認でき、「今も日々あわたしく過ごしていますが、成長する子どもの姿を楽しく見



洞爺湖にあこがれて引越してきた中川さん一家

ることが出来るようになりまし」と現在の心境を話します。同サークルは、入江4区集会所で毎月第2、第4水曜日に活動をしています。興味のある方は、扇さん宅(76-1706)へ。

あこがれの

洞爺湖で子育て

中川志保さんは、夫と6カ月になる志恵ちゃんの3人家族です。5月に夫婦で「洞爺湖の近くに住みたい」という願いを実現し、留寿都村から、洞爺地区に引っ越してきました。

同地区には、メールという子育てサークルがありました。会員の子どもたちが大きくなり、

体会状態でした。

中川さんは、約10年間の保育士などの経験からも「お母さん同士が集り、悩みなどを相談する場」の必要性を痛感していて、同サークルを、数人のお母さんたちと再度継続していくことを決めました。

お子さんが「行動範囲が広がり、目が離せなくなる」大変な時期を迎えて、ご主人の協力を得ながら、子育てに奮闘しています。

恵まれた自然や地域の方の心遣いなど、素晴らしい環境で子育てできる喜びを感じています。